

リスニング力向上を目指した オンライン動画英語プログラムの利用とその効果

熊井信弘

1. はじめに

英語のリスニング力を高めるためには多量の英語を聞くことが必要とされているが、ただ闇雲に多くのインプットに触れるだけでは十分ではない。リスニングでは耳に入ってきた情報を聞き分け、脳内でそれを意味に変えて理解に結びつける処理をできるだけすみやかに、かつ、自動的に行える能力を養うことが求められる。その一方で、特にカジュアルな場面や日常会話においては短縮や脱落、連結などの音声変化が頻繁に起こるため、そうした音声変化現象を理解するとともにそれに十分に習熟する必要がある。本研究では聞こえてきた英語が日本語に訳さずともそのまま理解できるように、また、英語特有の音声変化が含まれたものを聞いてそのまま理解できるように、オーセンティックな英語がふんだんに含まれる短い動画クリップを活用した English Central というオンライン動画英語プログラムを授業で1年間利用し、その結果、学習者のリスニング力にどのような効果や心理的影響が生じるかを調査し分析を行った。

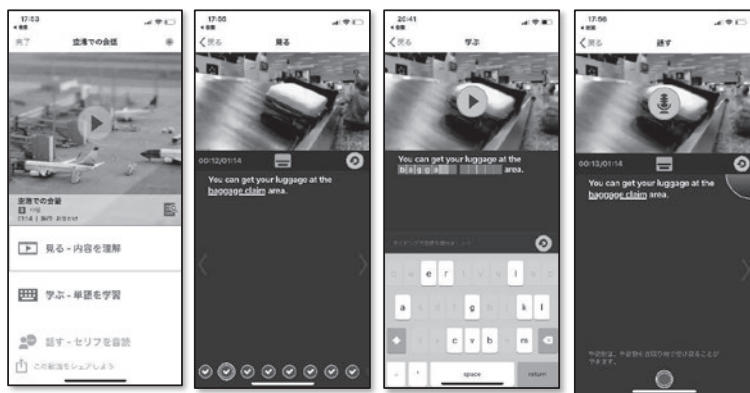
2. English Central とは

English Central は、英語の動画を教材として使い、英語学習用に作成されたオンラインプログラムである。世界中で話題になっている旬の動画の学習教材が提供されるほか、発音改善のための音声解析技術や脳科学に従って設計された単語学習システムも用意され、PC とスマートフォンの両方で利用できる。ここで扱われている動画にはインタビューや映画の予告編、ニュース、コマーシャルなどがあり多岐にわたる。

この動画教材プログラムでは、学習者が動画を「視聴」した後、その中で使

われている語彙や表現をディクテーションして「学び」、その後動画の音声を手本に音読練習や録音をして「話す」という3段階の練習から構成されている。

学習者は図1に示すように、「見る—内容を理解」で動画全体を何回か視聴しその概要をつかむことになるが、その際、英語と日本語の字幕を提示するかどうかを予め設定できるため、個々の学習者のレベルに合わせて利用できる。なお、視聴した動画は各個人の学習履歴として保存され、それが「マイ動画」の画面上に表示されるため、学習した動画の履歴がわかるようになっている。「学ぶ」ではスクリプトが1文ずつ表示され、動画を視聴しながら空欄をディクテーションして埋めていく。ここでは埋めるべき文字がすでに画面上に表示されているので、その文字を正しい順序でクリックしていくことで、ディクテーションを行う。提出した解答はすぐに判定されフィードバックが得られる。「話す」では、1文ずつ聞こえてくる音声を聞いた後、マイクボタンを押してその文を録音するが、即時にその判定が行われ、%で正答率が表示される。誤って発音された部分は黄色や赤色で表示され、どの部分が不正確な発音であるかが一目でわかるようになっている。以上のように、学習者は動画を用いて学習していくが、教師は個々の学習者の学習履歴を教師用画面で確認できるため、いつどんな学習が行われ、学習者がどのような部分で困難を感じているのかがよくわかるシステムとなっている。



タイトル

見る

学ぶ

話す

図1 スマートフォンでの学習画面の一例

3. 実際の授業における学習活動

このオンライン動画学習プログラムを利用した実践研究に下山 (2017) があり、そこでは実際の英語の授業において発音認識と発音指導を行いながらリスニング力を高めるための活用法について詳述している。本研究はその実践例を参考にし、本学の英語上級コミュニケーション LL の授業において1年間、オンライン動画英語プログラム English Central を利用することで、学習者のリスニング力にどのような効果が生じるかを測定し分析を行った。指導前後にリスニングテスト等を行いそのプログラムの効果を検証する予定であったが、実際の受講生が5名(すべて非英語専攻の学習者)にとどまったことから、統計的な有意差を検証するためのデータを十分に集めることができなかった。そのため、本論では5名のリスニングテストデータの分析と事後アンケートを行うことで、簡易的な学習者のリスニング力の伸張度と、学習者がこうした学習方法をどのように捉えたかについてデータを収集し分析することにした。なお、実際の授業においては英語の音声変化にさらに慣れるため、English Central のシステムの他に、オンライン上で学習事項の復習や発音練習を学習管理システムの Moodle 上でもできるようにした。

具体的には、受講者は毎週1回の授業において Moodle 上で動画を使いながらリスニングとスピーキングの練習を行ったほか、週に10個以上の動画を視聴し、それについて図2のようなレポートを作成し、その中から気に入った動画を1つ選び授業で発表するという活動を行った。発表の中には視聴した動画の中から自分の気に入った(または気になった)英文を1つ選び、なぜその英文が気に入ったか(気になったか)についても説明をするように指導を行った。

また、発表する動画については他の受講者も視聴できるようにするため、Moodle 内の Forum という掲示板に発表内容を動画の URL とともに投稿することで、学習者間で情報を共有できるようにした。

English Central Report

- ・毎週 EnglishCentral (<https://ja.englishcentral.com/>)にアクセスして、自分のレベルに合わせて10以上のビデオを視聴し、そこでの練習を行う。
- ・視聴したビデオについて、次の週に下記のようなレポートを提出する。
- ・視聴したビデオの中から1つ選び、それを授業で発表する。発表後、それを Forum に投稿する。

	ビデオのタイトル	長さ	面白かった点・気づいた点・気に入った文など
1			
2			

図2 English Central 視聴レポート

前述のように授業では英語の音声変化の練習と動画内の音声のシャドーイング練習をするため Moodle を利用した。English Central は通常、ブラウザやスマートフォンで学習することになるが、動画を Moodle に登録することができるようなプラグインが提供されている。それが English Central Moodle Module で Gordon Bateson 氏が開発し無料で提供している¹。これを Moodle に組み込むことで、Moodle 上でもブラウザと同様に English Central の学習が可能となる。授業では、すべての受講者に同じ動画を毎回提示し、一斉指導をするために利

1 English Central Moodle Moduleについては次のURLを参照のこと。 https://github.com/gbateson/moodle-mod_englishcentral

リスニング力向上を目指したオンライン動画英語プログラムの利用とその効果

用した。そこでは動画を視聴し理解の確認を行った後、その中に含まれる音声変化を取り上げ、それを集中的に練習した後、熊井 (2016) の VoiceShadow² のプラグインを用いてシャドーイングの練習と録音を行った。



① Moodle 上の画面で教員が選んだ動画を視聴およびディクテーション

上部には「見る」「学ぶ」「話す」の活動の進捗状況が表示される

② 個々の文の語彙を学習



③ 文を発音し録音する



2 VoiceShadow プラグインについては次の URL を参照のこと。 <https://github.com/e-rasvet/voiceshadow36>

④発音した文の評価
が個々に表示される

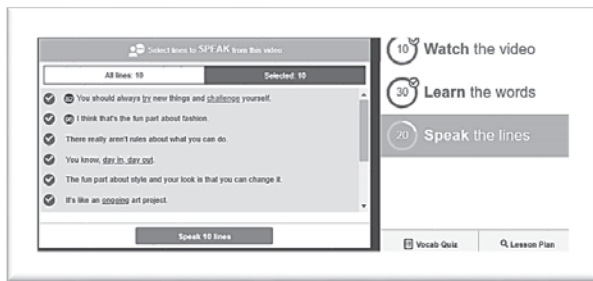


図3 Moodle 上に表示された English Central の学習例



図4 Moodle 上で行ったシャドーイングの練習と録音例

なお、この授業では学習者はこの他に、GoLive! と呼ばれるいわゆるオンライン英会話のレッスンが3回あり、授業以外の時間で各自可能な時に Skype を用いてオンライン上で実際に話す機会も提供された。そこでは動画教材について相手の教員と直接話す場合と、自由なテーマで話すフリートークをする場合

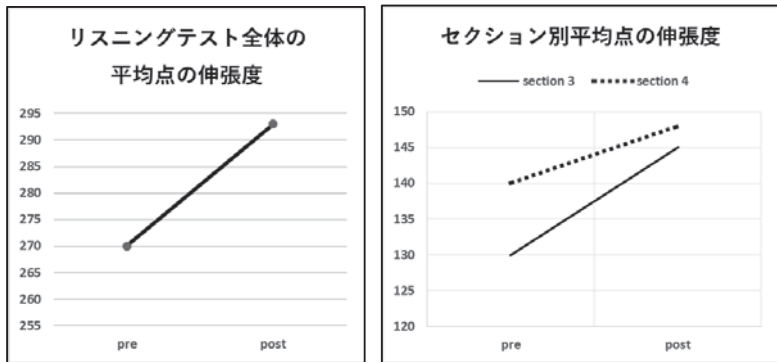
の2種類があり、学習者が前もって予約の際に選ぶことになっている。これについては補助的な活動であるため、今回の研究のデータとして扱ってはいないことを付記する。

4. 結果および考察

本研究では授業の受講者が極めて少なかったこと (N=5) から、リスニング力の伸張度については簡易的な結果を示すにとどめる。リスニング力の測定にはCASECテストのリスニングパート(セクション3:250点満点、セクション4:250点満点)を用い、一学期の学習開始時(4月)と二学期の学習終了時(12月)に行った。その結果が表1である。セクション3はリスニングの内容把握を中心とする問題で、セクション4は聞こえてきた英文の空所にあてはまる単語をキーボードから入力して解答する問題でディクテーション形式の問題である。

N=5	リスニングテスト (Section 3 と Section 4 の合計) の平均点	Section 3 の平均点	Section 4 の平均点
4月	270	130	140
12月	293	145	148

表1 CASEC リスニングテストの結果



前述のように、プログラム参加者が極めて少なかったことから、本論では統計的分析は行わなかったが、リスニングテストの平均得点が伸びたことは確認できた。内容把握を中心とした Section 3 およびディクテーション問題 Section 4 の両方において上昇が認められる。

学習者の心理的側面を探るため次の様な事後アンケートを行った。具体的には下記の項目について使用したプログラムについてどのように感じたかについてリッカート尺度を用いて調査を行った。その際、1：当てはまらない / 2：どちらかという / 3：どちらとも言えない / 4：どちらかという / 5：当てはまる、の5段階で回答を得た結果が表2の通りである。

	質問項目	平均 (N=5)
1	English Central はおもしろい	4.4
2	English Central を使うことで、授業に熱心に参加している	4.4
3	English Central を使ったことで発音やリズムが以前と比べて良くなったと思う	4.0
4	English Central を使ったことで今までより英語がよく聞けるようになった気がする	4.0
5	リスニングが重要だと思うようになった	4.6
6	英語を聞いたり声に出して読むことに対する抵抗感がやわらいだ	4.0
7	家でも授業のホームページにアクセスして学習した	4.2
8	この English Central を今後も使いたい	4.6

表2 事後アンケート調査の結果

このアンケート調査によれば、受講者の多くが動画を長期間に渡って視聴することによって、自然な速度で話される英語に対して以前と比べて不安感が減り、より積極的に英語を聞き取り理解しようという姿勢が培われたことがわかる。また、自分の発音やリズムが以前と比べて良くなったと感じている。また、今後もこの English Central を使いたいという気持ちも見られる。

上記の質問項目に加えて、English Central について自由記述による回答も得た。

Q1: 「授業や授業外で English Central に取り組んだ結果、あなたの英語の聴き取りに関してどのような影響があったと思いますか」という問いに対して、「ゆっくりとした会話程度ならある程度は内容がつかめるようになったと思うが、早口だったり強化の多いようなものだと未だにわからない」とか、「リスニングの能力は少し上がった気がします、スピーキングにはあまり効果がなかった気がします」や、「以前よりも英語が聞き取れるようになった。また、英語を聞くことに関して抵抗感が小さくなった」とのことであった。

Q2: 「この English Central の良いところはどんなことですか」という質問については、「たくさん題材があるため飽きずに学習できる。好きな動画を見つえられる」や「繰り返し聞いたり、字幕をなくしたりできるところ」をあげている。

Q3: 「この English Central で改善してほしいことは何ですか」という問いについては、「レベルと内容のむずかしさが、比例していないような気がしました」とか、「読み物やレベルの低いもので質の良いものをもっと多いとよいと思いました」や、「レベルの設定基準がよくわからない」というものがあった。動画のレベルについては、English Central 側が初級者から上級者に至るまで予め7つのレベルに分けているものの、初級者向けの動画の中には英文自体が平易であっても話される速度が速すぎたり、背景の雑音が大きすぎて肝心な英語がよく聞こえなかったり、また、文化的背景がよくわからないと理解が難しいものが含まれている。また、話し手が大人ではなく子供の場合には発話をはっきりしない場合があり、話されている内容は易しくとも聞き取りにくいことがある。したがって、動画の選定についてはシステムに示されているレベルを参考にしながら、英文の構造の難易度、速度、文化的背景等、様々な要素を勘案して選択する必要があると思われる。学習者にとって提供されている動画はおおいに興味をかき立てるものではあるが、内容的にもレベル的にも様々なものが存在するため、その中から自分のリスニング力に合った動画をどのように選択すべきかが難しく感じられたようである。そのような場合には、教員が学習者のレベルや興味に合わせてどのような動画が適切かをある程度選択して事前に提示する必要があると思われる。また、受講者がどのような動画をどの程度練習しているのかを、日頃より教員が教師用画面で確認し、適宜指導を行っている

く必要があるだろう。

5. さいごに

本稿では英語のリスニング力を高める方策の1つとして、英語の動画を活用したプログラムである English Central を実際の英語の授業で1年間使用し、それが学習者に対してどのような影響があったかについて、リスニングテストとアンケート調査を行いその結果をまとめたものである。残念ながらこの授業の受講者数がきわめて少なく、当初計画したリスニング能力の伸張度については、それを検証するためのデータが十分に得られなかったが、少ないデータからでも、内容把握においても細かな聞き取りにおいてもリスニング力が伸びたことがわかった。

実際にこのプログラムを利用した学習者は、頻繁にシステムにアクセスし学習を行い、生の英語をなんとか聞き取ろうとしたり、同じように発音しようとしたりすることで、音声変化が多く含まれた英語の音声に対する不安感が以前と比較して和らいだようである。また、今後もこのプログラムを利用したいという要望が強かったことから、こうした学習方法が受講者に受け入れられたと考えられる。今後はさらに多くの学習者に対してこのような授業を行う事で、より正確なリスニングの伸張度が測定できると思われる。

参考文献

- 石渡誠（監修）・矢落亮一・谷口恵子（2013）『English Central 活用ガイド：生きた英語で通じる発音を手に入れよう！』（Kindle版）プチ・レトル。
- 木澤利英子（2013）「明示的発音指導が中学生の英語学習に与える影響 音声スキルおよび英単語学習方略に注目して」『関東甲信越英語教育学会誌』27, 99-112.
- 熊井信弘（2016）「英語教師のためのICT活用ガイド [173] Moodleを利用したシャドーイング練習システム」『英語教育』8月号, 72, 大修館書店。
- 河内山真理・有本純・中西のり子（2013）「教職課程における英語発音指導の位置付け」*Language Education & Technology*, 50, 119-130.

- 中西のりこ (2008) 「英語発音学習に対する学生の意欲と動機付け」『コミュニケーション研究叢書』第6集, 48-57, 関西国際大学コミュニケーション研究所.
- 下山幸成 (2015) 「反転授業形態を取り入れた大学英語授業の効果」『日本実用英語学会論叢』21, 23-32.
- 下山幸成 (2017) 「動画教材を活用した英語リスニング授業：発音認識と発音指導を中心に」『東洋学園大学紀要』26 (1), 69-81.
- 田村恵理 (2015) 「必修科目「英語 IB」への English Central 導入プロジェクトを終えて」『石川県立大学年報』2014 巻, 91-100.

Utilizing English Central Program for Listening Development

Nobuhiro Kumai

English Central is an online English language learning program, which provides learners with a website featuring a variety of short authentic video footage designed to improve listening, speaking, pronunciation, and vocabulary. Students used this program in and out of the classroom for a year with the aim of improving their listening ability. The current paper aims to investigate how much the online learning activities this program offers improved the learners' listening ability and affected their perceptions about listening.

Five students participated in this study. Their listening ability was measured in pre- and post-tests to identify improvements resulting from the intervention. It was found that the overall listening comprehension score improved in the post-test. A descriptive analysis was also conducted in this study through observation and an online survey. The results show that the students liked the online learning program and they wanted to continue studying with this technologically enhanced learning tool, as it gave them meaningful and enjoyable learning experiences.